



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

会報



THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>

2

2011, February

第1892回例会

平成23年2月24日



地域を育み、大陸をつなぐ



■会長報告

会長 鈴木 享

もう23年前になりますが、平成元年の今日、2月24日は、昭和天皇の大葬の礼が行われた日です。昨今の政治や社会の混乱、人の心のあり様を見ると、何か昭和という時代が懐かしく、ここでもう一度、昭和という時代を考えるべき時ではないかと思えます。特に、戦後の復興の時代、日本人はどんな日本人であったかを考えてみることは重要で、現在の生活や仕事を何とかしようと考えるとき、ヒントがいっぱいではないかと思えます。「All Ways 三丁目の夕日」という映画がありました。懐かしく、温かな人たちが沢山いた時代、1960年代の東京の下町を描いたものです。昭和という時代から、大事なものを引き継ごうと思わせる、いい映画でした。この映画の続編「三丁目の夕日64」がいま制作中です。東京オリンピックの年を舞台にしているのですが、この映画を見て、あの頃のこの国の勢いというか、活気を取り戻したいものです。

帯広西ロータリークラブは、その昭和の時代に生まれました。昭和47年です。東京オリンピックの8年後です。そして、今日は帯広西ロータリークラブの創立記念日です。今日で満39年を迎えました。言葉遊びではありませんが、会員皆さんに、そして、多くの先輩会員に「サンキュー」と申し上げたいと思えます。今年度は、クラブ念願のガバナーを送り出し、地区大会を成功の内に終えることができました。大変喜ばしい年度でしたが、一方で、最も喜んでいただきたかったチャーターメンバー宮野永さんが亡くなり、斎藤充雄さんが亡くなり、チャーター年度会員である井上昭次さんが退会され、寂しく悲しい年度でもありました。しかし、皆さんが今年度に成し得たこと、それを牽引した大先輩である会員諸氏、さらには39年間に在籍された多くの会員の情熱と意志は今後も受け継がれるはずで、そのことを大事にしたいと思えます。歴史といま現在をともに大事にして、ますます「西クラブらしい西クラブ」を目指して、頑張って参りましょう。今夜は、そんな思いを込めた創立記念夜間例会でありたいと思えます。

会 長	鈴木 享	広報委員長	高田 晃一
副 会 長	土肥 孝紀	広報副委員長	奥田 頼昌
副 会 長	齋藤 憲生	委 員	柳沢 一元
幹 事	古田 敦則	委 員	大須賀眞太郎
計 画	小甲 哲士	委 員	谷脇 正人
S A A	若林 剛	委 員	河西 智子

2011年2月
世界理解月間
ロータリー創立記念日(23日)

たいまつ宣言

- 1.我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

■出席状況報告

月/日	1/6	1/13	1/20	1/27
例 会	1886回	1887回	1888回	1889回
会員総数	62名	62名	62名	62名
出席計算に用いた会員数	58名	52名	56名	54名
ホームクラブ出席	50名	40名	46名	46名
メイクアップ	8名	12名	10名	8名
出席率	93.5%	86.7%	91.8%	90%
月平均	90.5%			

■今月の主な行事

- 2月 3日 結婚・誕生祝
- 10日 休会
- 15日 7RC合同例会 (3/17線上)
- 24日 夜間例会 創立記念
- 27日 第6区分区IM (3/3線上)



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL21-0001)
 創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

点鐘
開会宣言
ロータリーソング(それでこそロータリー)
会長報告
会務報告

鈴木 享会長
渡部省一副SAA
鈴木 享会長
奥 敏則副幹事

④第6分区IM(都市連合会)

日 時 平成23年2月27日(日) 午後1時
場 所 笹井ホテル
主 管 音更ロータリークラブ
スケジュール 受付 12:00~13:00
開会式 13:00~13:40
講 演(1部・2部)
13:55~16:35
閉会式 16:40~17:00
懇親会 17:40~19:00

尚、帯広南RC、2月28日(月)の繰り上げ例会
帯広東RC、3月1日(火)の繰り上げ例会
帯 広RC、3月2日(水)の繰り上げ例会
帯広西RC、3月3日(木)の繰り上げ例会
帯広北RC、3月4日(金)の繰り上げ例会となります。

⑤帯広東RC『夜間例会』

日 時 3月15日(火) 午後6時30分
場 所 帯広ワシントンホテル

⑥帯広RC『創立記念夜間例会』

日 時 3月16日(水) 午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広

⑦帯広西RC『夜間例会』

日 時 3月24日(木) 午後6時30分
場 所 北海道ホテル

⑧帯広北RC、3月25日(金)は休会

帯 広RC、3月30日(水)は休会

帯広西RC、3月31日(木)は休会

ニコニコ献金
プログラム

親睦活動委員会
親睦活動委員会 佐々木和彦委員長



創立記念例会

1) 創立記念会員卓話

小室陸雄会員

帯広西ロータリークラブ39年間に、7冊の思い出記念誌発刊図書を紹介し、もっとも古いものは1981~82年国際ロータリー第2500地区年次大会記録誌となっております。表紙には大変有名な柴田恵山書の「金文」書体で書かれております。編集委員は、委員長・佐藤裕、副委員長・川上哲平、委員・平林勉ほか9名でありました。単なる報告用でなく記録誌として編集されました。1987年、2刊を発刊しております。15周年を迎えて一つは「15年誌」と「会員の素顔」を編集されております。

~ロータリー情報委員長 川田 淳より~

編集後記、西RCも創立15周年を迎えた。チャーターメンバー31名が今では半数になり、時世の移り変わりを今更ながら感じさせます。記念の節目であり会員の素顔を活字で保存しておくのも大切な記録の情報部分だと思えます。印象深い内容を紹介いたします。

~「例会欠席の思い」 谷本 宏より~

11年目の秋、まだ空港がジェット化しなかったとき、羽田発の第一便で帯広に向かえば何とかメーキャップでできる見込みで、早朝東京ホテルを出発しました。羽田に到着し搭乗手続きはOKだったのに、帯広は悪天候のため、天候調査中で待つこと暫く、欠航と発表された。あー遂にロータリークラブ第一回目の欠席が決定した、10年8ヶ月の努力はここに無惨にも崩れ去ったのです。このとき程ロータリーの欠席を反省させられたことはありませんでした。

~「ロータリーのバッジ」 深澤知善より~

帯広開基100年第一次の市民ジェットの団長として欧州に参加したとき、一応のセレモニーが終わり懇談の助役さんが私のバッジを見て「おーロータリアン、私もロータリアンです」と云って再び固い握手を致しました。優しい思いやりのあるあの笑顔が今でもあの手に、私の頭にハッキリと焼き付いている。ロータリーの友情のすばらしさの一端を知ったような気がする。

次は15年のあゆみ「輪」であります。編集委員長は宮野永会員。当初創立10周年記念誌を発行予定でしたが、そこまでに至らず、蓄積された15周年誌として発行に成っております。

次に、創立20周年誌“手に手つないで”が発刊されました。編集委員長として岡田さんが大変苦労したと聞いております。20年誌は、歴代の会長とチャーターメンバーの座談会が中心でありました。又、卓話集も作成されて居ります。20年の節目にプログラム委員長の川田淳さんが29人の卓話を全文収録されております。

そして30周年記念誌に入ります。30周年の記念事業の一つとして、世界は回るを発刊致しました。これはロータリーの国際理解と親善の為にと云うテーマです。3年間にわたる29人の卓話、29カ国の思いの数々を国際親善、国際理解の為に載っております。もう一つは、定着してゆく樹木の国際化として川田淳さん、非常にきれいな写真は岡田会員が撮っております。もう一つは山田薫さんの国際理解と親善のために30年の小史と、この三つを組み合わせ「世界は回る」で出ております。これが6冊目です。創立30周年記念誌「たいまつを受け」見ごたえ、読みごたえのあるいいものが出来ました。実行委員長宮野さん、編集委員長が鈴木さん、委員に田中さん、岡田さん、日崎さん、沢田さん、中山さん、深澤さんが137頁に及び製本(装訂)されました。編集後記に誕生物語として、鈴木さんが創立時の記録、資料は一部の写真を除いて残念ながら残っておりませんでした。宮野委員長は第一回例会からの会報を保存されておりました。30年前そのままに複製転写することが出来ました。この記念誌のハイライトで重みを加える物となりました。30年前の資料をきっちりと残していたことは、さすがチャーターメンバーと思ひ、忘れてはならないことです。又、第7回の例会43年4月13日チャーターナイト記念例会にも懐かしい名前が出ております。西クラブの歴史を実際の姿そのままに掲載されているユニークであったと思ひます。当時掲載会員75人、9年間で40名が退会し27人が入会されておりますが、このままでは先細りになって行くのではないかと。長い歴史がありますが30周年はもう9年前です。来年は40周年、50周年もすぐにくると思ひます。西ロータリークラブが更なる歴史を積み重ね、すばらしい会で有りますように。このようなことを期待しながら7冊発刊の本を紹介いたしました。

2) 懇親会

挨拶
乾杯
締めの言葉

平田利器クラブ奉仕担当理事
斉藤憲生副会長
三野宮功会長エレクト

閉会宣言
点鐘

渡部省一副SAA
鈴木 享会長

お知らせ 2月はRI指定の「世界理解月間」です。

次週プログラム予定

2月27日(日) 理事会 [IM(都市連合会)] ※笹井ホテル
(3月3日繰り上げ例会)